

令和2年度版 武蔵野市の環境保全への意見とその回答

no	頁	ご意見等	ご意見等に対する市の回答
1	全般・ ページ指定なし	<p>基本計画は「重点項目」→「環境方針」という構成で、本報告書に記載された内容は全て「重点項目」ということになっています。しかし、報告書の内容は市の取り組みで「環境」という「キーワード」に引っかかりそうなものを網羅的に列挙した印象があり、その結果、一体何が本当に市として重点なのか全くわからなくなっています。「犬のしつけ」や「ボイ捨て防止」などが「エネルギー地産地消」と同じ位置付けで列挙されているのは強い違和感を覚えます。「重点項目」として取り上げる事業を絞り込み、それ以外の事業については「参考資料」あるいは「その他」などとして外出しにした方がよいと思われまます。市としては環境に関わる事業が数多くあることを示す必要があるのかも知れませんが、今後は「カーボンゼロ」という高い定量的目標を掲げた以上、事業の優先順位を明確にして取り組む必要があるのではないのでしょうか？また、カーボンゼロの必要性がこれだけ世間でも浸透しましたので、そのための事業の取捨選択は市民にも理解されうものと思われまます。</p>	<p>第四期環境基本計画において重点項目と環境方針の関係性は明示されていませんが、重点項目1が環境方針1に、重点項目2が環境方針2に、重点項目3が環境方針4とほぼ一致していることから、事務局としては重点項目の意味を、「第四期環境基本計画において優先的に取り組むべき環境方針」と解釈しています。</p> <p>いずれにせよ、本報告書において第四期環境基本計画の重点項目の実績について記載がないことはご指摘の通りですので、P8～9にどの環境方針がどの重点項目に対応しているかを追記する予定です。</p> <p>一方で、第五期環境基本計画は重点項目を設定しておりません。第五期計画は分野横断的に環境施策を取り扱うマスタープランとしての位置づけをより明確にしたことから、具体的な施策を書き込む体裁をとっておらず、そのため優先付けは困難だった経緯があります。もっとも、ご指摘の通り、地球温暖化対策をはじめとして喫緊の課題がいくつか挙げられることは事実ですので、社会情勢等に鑑みて施策の優先順位を見極めてまいります。</p>
2	全般・ ページ指定なし	<p>事業の中には基本計画以前から継続的に行っているものもあると思われまます。No.1の意見にも関連しますが、本基本計画によって実施方法や内容を見直したものに絞った方が基本計画の総括は明確になろうかと思われまます。</p>	<p>環境基本計画はあらゆる環境施策に対して方向性を示すもので、これを受けて計画の推進ツールである「武蔵野市環境マネジメントシステム」(EMS)が年度ごとに管理する事業を選定しています。その結果が令和2年度は111事業ですので、本報告書はこの全ての事業の実績を掲載する必要があると考えています。</p>
3	全般・ ページ指定なし	<p>データが示されている事業は基本計画期間中の数値を示していますが、基本計画の効果を把握するためには基本計画以前の数値と比較すべきではないでしょうか？</p>	<p>いずれの項目においても原則として過去5年間の数値を示しており、5か年計画の最終年度である令和2年度はちょうど計画期間の数値が掲載されています。過去5年間という期間設定は市政全体の事業報告である「事務報告書」と体裁を統一するためでもあります。また、本報告書における数値掲載の意義は、環境基本計画がマスタープランであることを念頭に、当該計画の効果の分析というよりも、事業実績の概括的な趨勢を見ようとする点にあると考えています。その意図や背景は、no.5のご意見の回答もあわせてご覧ください。環境基本計画の効果を定量的に分析することは非常に難しいため、ご意見は課題として受け止め、今回はこのままとさせていただきます、引き続き検討してまいります。</p>

令和2年度版 武蔵野市の環境保全への意見とその回答

no	頁	ご意見等	ご意見等に対する市の回答
4	全般・ ページ指定なし	全般に大作と思います。 残念ながら、市民の立場で、何を行政が実施したのか説明いただいても、政策目的をどこまで達成したのか記述いただけないと評価できません。 令和3年報告では、何ができていないか、直面する課題は何か、正確な記述を期待します。	大きなレベルでの政策目的の達成状況はP8～9の通りです。 また、「何ができていないか、直面する課題は何か」については、ご指摘の通り、総評部分において不足していると考えましたので、P8～9に追記する予定です。
5	全般・ ページ指定なし	令和2年度は、第四期環境基本計画(平成 28～令和2年度)の最終年度にあたるため、5年間の総括的な評価が必要とありますが、おしなべて言えば、新しい取り組みで、環境事業が進捗したように見えますが、政策効果が評価されていません。納税者としては不満です。	no.4の回答の通り、大きなレベルでの政策目的(=環境方針)の達成状況はP8に示しています。それより具体的なレベルでの各事業の評価については、本報告書で示すものではないと考えています。環境基本計画は全ての環境分野の最上位に位置するマスタープランであり、これとは別に分野ごとの個別計画が存在します。環境基本計画は、個別計画によって推進された各施策をあくまで俯瞰的に捉えるもので、環境基本計画の年度ごとの実績報告書である本報告書もこれに基づいて事実としての実績報告と総合的な評価を記載するにとどめています。定量的な目標設定やそれに対する実績、個別の事業の効果や課題、評価といった情報は、個別計画もしくは個別計画に対応した報告書に記載されます。
6	全般・ ページ指定なし	政策効果測定のため、市民へのアンケートに取り組んでいただきたい。市民税を利用していますので、効果を評価してください。	環境基本計画の改定作業等のタイミングで市民や事業者に対してアンケートを実施しています。
7	全般・ ページ指定なし	・全体としてよくまとめられていると思います。各キャプションの表題もよいです。	ありがとうございます。
8	全般・ ページ指定なし	・クリーンセンター、エコreゾート、エネルギーの地産地消は武蔵野市の誇れる財産であると思います。	ご意見の通りに事務局も受け止めています。第五期環境基本計画の現状分析においても、「環境の軸となるリソースが充実している」ことを特色としており、これを前提に各種環境施策を展開するとしています。
9	全般・ ページ指定なし	・実態調査は最初に場所と頻度を記載して欲しい。	P47以降の環境方針6についてのご指摘かと思います。場所と頻度は示していますが、構成上最初に記載していない場合もあります。
10	全般・ ページ指定なし	・参加者を公募した場合、参加者数は書いてありますが応募者数が解りません。	ご指摘の通り、応募者数が明確になるとよりわかりやすいかとは思いますが、事業の中には応募者数を公開していないものもあると思われます。今後の課題とさせていただきます、関係各課と調整します。
11	全般・ ページ指定なし	・コロナ禍終息後、今後の生活様式に何らかの変化が起きると思われる。その変化に対応するための調査・観察が不可欠であろう。	ご指摘の通り、新型コロナウイルスが社会に及ぼした影響は、コロナ禍が明けても続くものがあると思われます。引き続き、状況を注視してまいります。

令和2年度版 武蔵野市の環境保全への意見とその回答

no	頁	ご意見等	ご意見等に対する市の回答
12	全般・ ページ指定なし	・最近身近に感じていることであるが、集合住宅が増えるに従い緑が減少している。地産の野菜を売る無人スタンドが減っていることも残念に思っている。	民有地における緑の確保は「緑の基本計画」でも課題として挙げられています。ご意見は今後の施策の参考にさせていただきます。
13	全般・ ページ指定なし	事業番号1-111までで 新型コロナウイルス感染症拡大防止の理由により中止した案件が非常に多い一方で淡々と推進している事業もあり、その辺の色分けを明確に分析評価する文章が必要ではないでしょうか。単にイベントが中止されたという事実だけでなく、それが何件中何件であり、そのことによるダメージにはどのような影響があるか、今後どのような対策・見直し・代替案を考えるかというような課題を併記したほうがよいと思います。単にやめて済むイベントなら、今後もやらなくても良いという評価につながってしまうので、その点失われたチャンスの持つ意義を考察する一文が欲しいです。	P9の「新型コロナウイルス感染症の影響について」の記載がご指摘の内容に近く、これが本報告書における新型コロナウイルスの環境施策に対する総合的な分析と評価にあたります。なお、P9に記載の通り、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、環境施策に限らず市では令和2年度に事務事業全体の見直しを行っており、事業中止・延期・縮小等と継続は其中で検討し、判断したものです。
14	全般・ ページ指定なし	電柱地中化を計画的にして欲しい。住宅地における電線は景観を著しく破壊しているものが多い。歩いて不愉快である。全域にわたり特に井の頭公園導入路等促進してほしい。	既に市内の一部で無電柱化しており、また第五期環境基本計画P41にも今後の方向性について記載しています。ご意見は今後の施策の参考にさせていただきます。
15	全般・ ページ指定なし	大雨による浸水地域が点在しているがこれは地下大型貯留槽設置で早急に解決して欲しい。	第五期環境基本計画のP43にも浸水対策に関する今後の方向性について記載しています。ご意見は今後の施策の参考にさせていただきます。
16	全般・ ページ指定なし	コロナウイルス対策として。変異デルタ株陽性者は病状が急変し若年者も死に至るようであるので、若年者ワクチン接種を急ぎ、自宅養生ではなく即入院体制を自治体として指導し実行して欲しい。	新型コロナウイルスに関するワクチン接種や治療・療養について本報告書で取り扱うことは適当ではないと考えています。ご意見は所管部署に伝えます。
17	全般・ ページ指定なし	・家族で過ごせる公園、緑一杯、芝生多く子供が走り、回り車による移動図書館があり音楽が聞ける車両が止まり、スイーツやソフトクリームを売る車両が止る公園が数多く欲しい。昨年市が購入した旧赤星邸庭園をそのような公園にして欲しい。 ・安心安全なまちづくり、井の頭公園旧日産厚生園を大規模防災公園にしてほしい。都有地であるから都と打ち合わせ2000人以上が2週間くらい避難生活できる大防災避難場を作って欲しい。新型コロナウイルスクラスターに対応し、ペットも生活でき、でき、ボランティアも宿泊できるものが望ましい。常事は観覧席のあるある全天候型賃貸ジム、見本市会場、コンベンションセンターとして使用し収入を図る。(防災場としては熊本学園避難所参照)	公園は市民の憩いの場であるとともに、生物多様性の向上、地球温暖化対策、防災、文化、教育等にも資するものです。今後の方向性として、これらの役割を考慮し、質の高い緑を保全・創出することについて、第五期環境基本計画のP38にも記載しています。ご意見は今後の施策の参考にさせていただきます。
18	全般・ ページ指定なし	自転車の走行空間を確保した道路を増やして欲しい。	自転車の普及促進は渋滞緩和や地球温暖化抑制に一定の効果を持つと考えられており、また第五期環境基本計画のP40にもこれに関する今後の方向性を記載しています。ご意見は今後の施策の参考にさせていただきます。
19	全般・ ページ指定なし	・都市災害への対応。吉祥寺南口駅近辺は築40年を超える旧耐震ビルが点在する。これらのビルは大地震で対し大破・中破が予想される。早急に市がこれらを調査し、危険なビルは大地震で対し大破・中破が予想される。早急に市がこれらを調査し、危険なビルは助成金を出してでも耐震化すべきである。場合によっては取り壊し建て替えに踏み切るべきである。高層ビルの高さをそろえ屋上も避難場とする。個々の敷地エレベーターを共有でき望ましい。 ・公会堂はさらなる耐震化が必要と思う。客席350席は少なすぎるので、現丸井近辺に地主と話し合い公会堂を含む高層ビルを計画することを提案する。800席の音響可変装置を持つクラシック音楽演奏もできるホールとマルチパーパスの200席程度の小ホールが欲しい。	建築物の耐震化は、耐用年数を延伸させ、エネルギー・資源の有効活用、廃棄物削減や自然環境の保全等につながるものと考えられます。耐震化に限りませんが、公共施設の環境配慮が民間の建築物にも波及して持続可能なまちづくりにつなげるために、公共施設の環境配慮基準を設定することが第五期環境基本計画P40にも記載されています。ご意見は今後の施策の参考にさせていただきます。

令和2年度版 武蔵野市の環境保全への意見とその回答

no	頁	ご意見等	ご意見等に対する市の回答
20	はじめに	配布された資料1この視点はかなり大事な内容を含んでいるので、本体報告書の「はじめに」に少し反映させたほうが良いと思います。	ご指摘を踏まえ、「はじめに」部分は全面的に修正する予定です。
21	はじめに	令和元年度版と同文になっていますが、例えば新型コロナウイルスによる環境施策への影響等、2年度版の着目点について触れた方が良いと思います。 また、5頁の(2)項を読むまでは、A～Dタイプとは何か分からないので、“環境基本計画及び環境基本計画と連動する環境マネジメントシステムの一部(A・B・Cタイプ)の「市域全体に関する取組」については第1章、環境マネジメントシステムの一部(Dタイプ)及び武蔵野市役所地球温暖化対策実行計画の「事業所としての市の取組」については第2章にて掲載をしています”の部分に、(A～Dタイプについては5頁を参照下さい)と付記した方が良いと思います。	ご指摘を踏まえ、「はじめに」部分は全面的に修正する予定です。
22	1	“令和2年度は、第四期計画の期間にあたります。”は、“令和2年度は、第四期計画の最終年度にあたります。”の方が良いと思います。	ご指摘を踏まえ、修正する予定です。
23	2	p.1で基本計画の方向性が様々な条例や上位の計画から決まってくるが示されていますが、それらの具体的な方向性が述べられていないため、p.2の環境像、重点項目、環境方針の背景や動機がわかりません。恐らく、基本計画本体には述べられているものと思われませんが、本報告書だけで完結した文書にはなっていません。ただし、このような文書構成でよいという方針であればそれで結構です。	ご指摘の通りだとは思いますが、環境基本計画は多岐にわたる法律や条例、計画等から影響を受けるため、その全てを記載することは紙面の観点から難しく、省略したかたちをとっています。
24	2	重点項目2・3は環境方針2～6に対応していることはわかりますが、「情報の分かりやすい提供」という重点項目1が必ずしも環境方針1の「自発的行動」と直接結びつかないように思われます。	第四期環境基本計画では、「物事の表面的な情報にとどまることなく、それらの原因や根源を深掘りした情報としていくことにより、情報を受信した様々な主体の環境配慮行動を促します」と記載しており、「情報の分かりやすい提供」と「自発的行動」をつないでいます。
25	5	EMSで環境施策・事業をA～Dタイプに分類していると記述するならば、(2)項としては、A～Dタイプ毎の取組結果(総括評価)を記述すべきだと思います。	EMSの構成を説明するものとしてA～Dタイプに触れていますが、当該タイプ分類は基本的に実務上・管理上の分類であり、総評は環境基本計画で定める環境方針ごとに行っています。
26	8	“むさしの環境フェスタのオンライン開催等、新しいかたちでの環境啓発施策が実施され、一定の効果を上げたことから、”との記述で、一定の効果とは何なのかを具体的に記述すべきだと思います。	ご指摘を踏まえ、修正する予定です。

令和2年度版 武蔵野市の環境保全への意見とその回答

no	頁	ご意見等	ご意見等に対する市の回答
27	8	<p>&lt;環境方針3&gt; 「ごみ回収在り方等検討委員会」の最終報告に基づいて変更したということですが、それによって市民のデメリット面はあるはずですが。苦情などが寄せられませんでしたか？ その場合、どのように対処されたのでしょうか？</p>	<p>特に収集頻度に関する苦情が寄せられています。苦情に対しては、ごみ収集車の稼働台数やガソリンの削減につながり長期的に環境配慮に資すること、元の収集頻度が多かっただけで他の自治体と比較しても少ない収集頻度ではないこと等を説明し、スーパー等の資源物回収の利用も促しています。</p>
28	8～9	<p>5 計画に基づく施策の推進の成果(総評)において、ほぼ肯定的な表記はそれで良いですが、全く問題がないかのような自画自賛になるのも問題で、満足できなかった内容とその要因、若干の今後の課題を少し加えたほうが良いと思います。</p>	<p>no.4の回答の通り、ご指摘を踏まえて修正する予定です。</p>
29	8～9	<p>報告書を全て読んだ上であらためて「総評」を読むと、「～を展開しました」、「～を推進しました」など「やったこと」は述べられていますが、基本計画を実施した結果、何がどの程度成果が得られたのか、あるいは達成できなかったことは何か、達成・未達成それぞれ要因は何だったのかが明確でないため、きちんとした「総括」になり得ていないように思われます。そうした評価は検証作業を伴うため大変なのは承知していますが、そうであるからこそ上述のように基本計画が対象とする事業を絞り込んで、重要施策について定量的に効果を評価してゆく体制が重要だと考えます。</p>	<p>no.1、no.5の回答をご覧ください。</p>
30	8～9	<p>計画最終年度の報告書として肝の部分であるので、環境方針一つに対して1頁を当てて、実績推移グラフや実施例の写真を掲載して記述内容の根拠を示す等、読み手の関心と理解を深める工夫が必要と思います。</p>	<p>実績の推移についてはP13以降に示していることから、重複を避けるために割愛しています。写真については、本報告書は白黒印刷を予定しているため、特別に複雑な事項を解説する場合以外は使用を掲載を避けています。</p>
31	8～9	<p>5 計画に基づく施策の推進の成果(総評)                      &lt;環境方針2&gt; 低炭素社会に向けた施策を推進します。～エネルギーの地産地消～                      その他、計画期間全体における実績として、水素自動車の導入等による新しいエネルギーの活用が示されている。水素自動車を公用車として導入した際には、水素自動車を活用した環境啓発活動も有効であると考えます。具体的には①走行距離等によるCO<sub>2</sub>削減量の情報発信②環境イベントなどの機会に水素自動車を活用して環境啓発活動を紹介していく取組みができると考えます。</p>	<p>ご意見は具体的な施策の実施において参考にさせていただきます。</p>
32	9	<p>「新型コロナウイルス感染症の影響について」の文体が、である調でほかのですます調と不統一です。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、修正する予定です。</p>
33	9	<p>施策推進の成果に関連して、新型コロナウイルス感染症の影響について付記したことは良いことだと思いますが、家庭系ごみの増加、騒音や振動等の公害に関する苦情の増加、放置自転車の撤去件数の減少が数値で明確に現れていると記述するならば、数値グラフでその程度を示すべきだと思います。また、この項目だけ“～した”調の記述になっていますが、他の項目に合わせて“～しました”調に直した方が良いと思います。</p>	<p>実績の推移についてはP13以降に示していることから、重複を避けるために割愛しています。後段については、no.32の回答の通り、ご指摘を踏まえて修正する予定です。</p>
34	13	<p>青空市での廃棄物量・・・徐々に増えていますが開催規模、参加者数との関連があるのではないのでしょうか？ それを示す情報はありません。</p>	<p>青空市について、まず出展者数に大きく変化はありません。参加者数は厳密に計算できませんが、過去3年は天候が良かったこともあり、おおよその目算でそれ以前と比較して多い状況がありました。</p>

令和2年度版 武蔵野市の環境保全への意見とその回答

no	頁	ご意見等	ご意見等に対する市の回答
35	13	資源ごみの内訳・・・生ごみが含まれています。家畜飼料などの使われるのでしょうか？	青空市で集められた生ごみは、業者を通じて堆肥化されています。
36	13～23	これらの事業内容がやはり重点項目「情報の分かりやすい提供」の「分かりやすい」というキーワードにどうも結びつきません。	no.24の回答をご覧ください。
37	13～68	施策を実施した各部門からの実績報告を例年の様式で集約したものと見られますが、読み手が一般市民の場合、頁数が多くて読む気にならないと思います。この部分は附属資料にして、数値を含む表はグラフ化し、前年との相違点をハイライトするなどして、詳細を知りたい読み手に的を絞って編集した方が良いと思います。	市民だけではなく、市職員が日々の業務にも活用するもので、詳細で網羅的な情報が必要です。no.2の回答もご覧ください。
38	14	「グリーン購入の推進」は市の事業所としての取り組みですので、第2章の内容のように思われますが、ここに記載されていてよいのでしょうか？	「グリーン購入の推進」は市の事業所としての取り組みの側面もありますが、当該ページにも記載の通りグリーン購入対象製品の市場拡大等を指す外向きの側面もあるため、第1章に位置付けています。
39	16	13 環境に関する情報発信についての検討 むさしのエコリゾートの開館に合わせ運用開始した「むさしのエコリゾート公式ホームページ」は環境啓発情報発信として有効であると考えます。より多くの人に効果的に情報発信するためには現状分析が必要だと考えます。アンケートなどを実施して、アクセスをしたきっかけや感想などを調査してみたいかがでしょうか。調査結果を環境審議会等で共有し分析することで、今後の情報発信の取組みのヒントに繋がると考えます。	ご指摘の通りで、現在エコリゾートでは来館者向けにアンケートを実施しています。その他、幅広く市民のニーズや現状を把握するための手法を検討してまいります。
40	17	公募提案型環境啓発事業で、お金を補助していますが、個別事業の効果が不明です。	no.5の回答をご覧ください。
41	22	利賀村・・・どこですか？ 少なくとも県名または自治体名(利賀村を含むもう少し広域の)を書いてほしい。	ご指摘を踏まえて修正しました。なお、利賀村は富山県南砺市に含まれる地域です。もともと武蔵野市の友好都市でしたが、市町村合併で今は自治体としては存在しません。
42	24	指定低公害車の令和2年度の導入数が0とあるが、12ではないか。	ご指摘を踏まえ、修正する予定です。
43	24	市域における低炭素社会に向けた施策推進に際し、弊社が進めるカーボンニュートラルへの取り組みで地域へのお役立ちができると考えております。必要に応じてお声がけいただければ幸いです。	ありがとうございます。
44	24～26	環境方針2に関するデータが記載されていますが、それぞれの数値が「低炭素社会」に向けての全体的なインパクトがどの程度か明確ではありません。また、p.8の総評にもそのことが述べられていないため、一体、この基本計画によって何がどの程度まで達成されたのかよくわかりません。「地産地消プロジェクト」については本基本計画期間中は整備が主眼であって効果を測定する対象外であることは承知しております。	no.5の回答をご覧ください。

令和2年度版 武蔵野市の環境保全への意見とその回答

no	頁	ご意見等	ご意見等に対する市の回答
45	25	39 効率的なエネルギー活用推進助成金 地域の総エネルギー量削減と効率的な活用を目指し、現在「家庭用燃料電池コージェネレーションシステム」に助成金が設置されています。近年、気候変動に伴い、これまで経験したことがない威力・規模の台風や豪雨が頻繁に襲来し、大規模な停電が発生する等、災害リスクの増大への対応は重要性を増しています。系統電力停電時の備えとして、「停電時発電継続機能」を標準装備し、ウェザーニューズの停電リスク予測APIと連携して発電モードを自動調整する機能など、レジリエンス機能が向上しています。災害発生時の「在宅避難」に対しても貢献できる仕様となっています。これらのことを踏まえながら、住宅の省エネ機器等に対する既存の助成制度について、停電の影響緩和にも寄与する新技術や新製品に関する情報収集や市民ニーズの把握をしながら、さらに使いやすい制度に向けて定期的な改善を行うことに貢献していきたいと思えます。	ご指摘の通り、環境の領域と防災の領域は強く結びついていることがあります。環境配慮設備に対する助成のあり方についても、様々な観点から検討してまいります。
46	26	グリーンパートナー事業の登録事業者数について、令和2年度末の累計数はあるが、令和2年度分の実績数はないので表示してはどうか。	ご指摘を踏まえ、修正する予定です。
47	28	売電量・・・地産量が地消費を上回るのですね。どこが買ってくれるのでしょうか？ 市の収入になるのですね？	クリーンセンターで発電した電気は、原則として周辺施設等で自家消費します。ただし、まず昼間については、需要が供給を上回る場合があるため、足りない分は電力会社から購入します。逆に夜間については基本的に供給が需要を上回るため、夜間に発電した分は蓄電池に貯めて置いたり、売電したりします。売電先は東京電力と荏原環境プラント(ともに電気を販売する事業者です)で、代金は市の収入になります。
48	29	「電子申請の利用」に記載の「手続数」や「申請件数」の意味が明確ではありませんし、2つの表の対応あるいは関係も不明です。コロナ対応についての報道などによって「電子申請」や「行政のデジタル化」について市民も意識が高まっていますので、もう少し明確に記載しておいた方がよいかと思われます。また、デジタル化が万全でなければ、そうした問題意識があることも正直に書いておいた方がよいように思われます。	ご指摘を踏まえ、修正する予定です。
49	29～34	no.44の環境方針2に対する意見と同様、環境方針3もそれぞれのデータが全体にどの程度寄与しているか明確ではありません。また、基本計画の一環として何を取り組んだのかもよくわからないため、従来から取り組んでいる事業の基本計画期間中の実績を示しただけのように読めます。また、p.8の総評では述べられている「ごみ収集の在り方等検討委員会」に基づいて行った施策が具体的に明記されていません。	前段については、no.5の回答をご覧ください。P8の総評は、計画の最終年度である今回の場合、平成28年度～令和2年度までの事業の総評になります。したがって、一部ではありますが令和2年度の実績集部分に記載されていない過年度の事業に関する記載もあります。
50	31	※事業系系ごみ排出量・・・10kg以上を排出する事業所は???	1日平均10kg以下で、かつ朝9時までには敷地内にごみ置き場を設置できる事業者に限り、行政によるごみ収集をしています。10kgを超えるごみを排出する事業者は、民間の収集業者と契約しています。
51	35	農地保全制度が令和2年度末をもって事業廃止となっているが、その理由を記載してはどうか。	当該事業廃止の理由は他の事業報告書等でも記載しておらず、整合をとるために現行のままとさせていただきます。

令和2年度版 武蔵野市の環境保全への意見とその回答

no	頁	ご意見等	ご意見等に対する市の回答
52	35	5a～80a・・・「a」は何の略ですか？	面積の単位のアールになります。1aは100㎡です。わかりにくかったため、修正する予定です。
53	42	喫煙トレーラーハウス・・・設置は一か所だけですか？ 移動はするのでしょうか？	令和2年度末時点では3三鷹駅北口前に1か所だけでしたが、令和3年度に入ってから吉祥寺駅南口、武蔵境駅北口にも設置しました。原則として移動はしません。
54	44	パーク・アンド・バスライドシステム・・・良いシステムです。利用率はどのくらいあるのでしょうか？ 周知し利用促進をしたいですね。	利用率は算出できませんが、本報告書に記載の通り、令和2年度の場合、収容台数38台に対し、1日あたり47.5台が利用していますので、おおむねよく利用されているものと評価しています。周知については、市報等のほか、吉祥寺の総合案内所での周知、地域情報誌への広告掲載等も行っていきます。
55	47	光化学オキシダントは「二次」汚染物質と記してはどうでしょうか？	「二次」と記す意味については理解するところですが、専門的知識を持たない読者からすれば「二次」の表現はわかりにくく、改めて二次汚染物質の説明をしなければなりません。紙面も限られていますので、現行のとおりとさせていただきますと思います。
56	47～68	環境方針6については、用語の定義や図を交えた説明など詳細に述べられていて、それ自体が文書として完結(他を参照する必要がない)した、より報告書らしい体裁となっています。その点はよいのですが、それ以外の環境方針に関する報告内容と記述の詳細や文書体裁が大きく異なっており、ちぐはぐな印象が否めません。 ただ、この環境方針6についても「～を図りました」とか「～を測定しました」などの記述が散見され、「だから何なのか？」という説明がありません。	作成主体が複数の課にまたがっていることや、事業の性質も違うことから、その事業について各課が効果として伝えたい内容にどうしても違いが出てきてしまいます。統一した表現や表記の仕方など、見やすさについては課題として検討してまいります。後段については、no.5をご覧ください。
57	48	5項目について常時測定しているということなので、どこで測定しているのかと考えながら読んでいたところ、最後に市役所西館2階と書いてありました。結果としては良好ですが、市内の代表値と言えるでしょうか？ 市内では一か所のみでの測定でしょうか？	代表値の設定については基準がありませんが、市役所はおおむね市の中心部であることから、この数値を使用しています。市内では、市による測定は1か所のみですが、東京都が他に2か所で測定しています(武蔵野市関前局・五日市街道武蔵境局)。
58	50	光化学スモッグ注意報月別発令回数がR2年度が少ないのはCOVID-19の流行による社会的な活動と関係ありと考えられますか？	新型コロナウイルス感染症の蔓延により一般に交通量は減っているとされており、そのことが光化学スモッグの発生減少に関係している可能性はあります。しかし、どちらかと言えば光化学スモッグは天候の要因が強く動くものであることから、令和2年度の天候が関係している可能性のほうが高いと思われます。
59	51	PM2.5の測定結果に「武蔵野市関前局」とありますが、他にも測定局はあるのでしょうか？ 環境省の行っている自排局、一般局との関係はありますか？	no.57の通り、東京都環境局の測定局が2つあり、本報告書ではそのうち一般局である関前局の数値を使用しています。これは、五日市街道武蔵境局は自排局で、自動車由来の要因が数値に影響する可能性が高いためです。



令和2年度版 武蔵野市の環境保全への意見とその回答

no	頁	ご意見等	ご意見等に対する市の回答
60	58	C. CODについて、望ましい基準数値を記載してはどうか。D. 水質調査について、令和元年度とあるのは、令和2年度ではないでしょうか。	本項目は玉川上水・千川上水という河川に準じた地点の水質調査について述べた箇所です。CODについては、河川の基準値がないため、記載しておりません。ちなみに湖沼の基準値は定められているため、測定結果をあくまで参考値として当該基準値と照らし合わせることで、汚染の評価をしています。ご指摘を踏まえて、このことについての解説を追記しました。 水質調査の年度表記についてはご指摘の通り修正する予定です。
61	68	PCB含有物の管理・・・市内にPCBは存在していますか？ 日本はPOPs条約に加盟し、処理が行われたはず(当初の予定よりかなり遅れていましたが)、まだ完了はしていないのでしょうか？	市の公共施設や市内の民間事業所にもPCB含有物は存在しています。処理期限は、濃度や機器の種類にもよりますが、早いもので令和4年度中、遅いもので令和8年度になっています。
62	71	「エコオフィスむさしの」についてはp.26で述べられていますが、p.71に当該事項の表が唐突に掲載されています。これは表の挿入ミスでしょうか？	ミスではありませんが、ご指摘の通りP70とP71のつながりがわかりにくかったため、P70にエコオフィスむさしのの活動に関する文言を追加する予定です。
63	75	温室効果ガス排出量はつまるところ、電力の二酸化炭素排出係数に依存するところ大であり、今後の削減は電力使用量の削減だけでなく、係数の低い電力の選択が重要です。ここでの各係数に大きな差があるのですが、例えばMin 0.125 Max0.544と3倍以上開きがあることについて、その中身を知りたいと思います。言いにくい事情があれば必ずしも報告書に明記しなくても良いです。	ご指摘の通り、電気の使用に伴う二酸化炭素の排出量は、どのような手法でその電気が作られたのかによって大きく左右されます。したがって、地球温暖化対策のためには、環境にやさしい手法で作られた電気(=排出係数の低い電気)を選択することが非常に重要です。P75の令和元年度・2年度の②の事業者は、「武蔵野市エネルギー地産地消プロジェクト」(P24、25も参照ください)の一環として、意識して特別に排出係数の低い電力を選択した結果です。一方で、それ以外の事業者は、最低限の環境配慮基準を満たした事業者を競争入札で選定した結果になります。
64	75	この表の「目標」と「実績」は列ではなく行として上下に記載すべきではないでしょうか？具体的には「エネルギー～由来する二酸化炭素」と「温室効果ガス」の行をそれぞれ2行に分割し、その上段行を「目標」、下段行を「実績」にするということです。そうすると同じ項目の目標値と実績値を上下で見比べられます。	ご指摘を踏まえて表の見やすさについては今後の検討課題とさせていただきますが、今回の表については地球温暖化対策実行計画に記載されている表の形式と同様のものを掲載しているため、両計画の整合性の観点からこのままとさせていただきます。
65	75	目標が達成されたのは大変結構ですが、どういった施策がどの程度、効果があったのかこの表からはわかりません。今後の施策の優先度を考慮する上でもそういった定量的分析は重要だと考えます。	どのような施策が効果があったのかはP75上部に記載の通りです。明確に効果的が確認できたものだけを記載しています。その根拠となるバックデータを環境政策課で把握していますが、紙面の関係から省略しています。それより深いレベルでの分析については、例えば天候等の外部要因の考察も必要となり、膨大な作業が必要となるため困難です。no.3の回答もあわせてご覧ください。

令和2年度版 武蔵野市の環境保全への意見とその回答

no	頁	ご意見等	ご意見等に対する市の回答
66	75	<p>計画最終年度の報告なので、平成28年度からの計画期間全体の目標達成状況を、表ではなくグラフ化して示す方が良いと思います。 また施設毎の状況が分かるように、本庁舎、コミュニティセンター小計、文化施設小計、福祉施設小計、小学校小計等の内訳も示す方が良いと思います。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、P74にグラフを追加しました。 施設ごとの分類は、地球温暖化対策実行計画がそのような区分での目標設定を行っていないため、現行の記載となっています。</p>
67	76	<p>この表のキャプションがp.75末尾に残ってしまっています。また、この表は、「エネルギーの消費に由来する二酸化炭素の合計」と「廃プラスチック類の焼却に伴う二酸化炭素の合計」の行をその左側の「二酸化炭素(CO2)」と同様の体裁(つまりこの行の列を上まで延ばしてL字型とし、「計」または「合計」以外の文言を列に記載)にした方が表として一貫性がありますし、わかりやすくなります。</p>	<p>ご指摘の通りキャプション、表を修正しました。</p>